

R I S E

ライズ

編集者

教宣部

NO.163

2008年 7月 30日

塩分補給の熱中飢、**涼しい所で舐めてどうするの？**

東二両の皆さんご苦労様です。雨が例年より降ってないと思いながら、いつの間にか、梅雨明け宣言されました。それからというもの、連日うだるような暑さが続き、西の方では、体温をも上回る猛暑日、皆さん体調管理は、どのようにしていますか？

先週から東二両所でも、やっと熱中飢を希望の方には、総務科で貰えることになりました。大阪（第一、第二、第三）車両所や東一両所、はたまたSMTでは、既に配られている“シロモノ”であります。但し、決まりごとが書いてあるのです。「勤務時間中には使用を禁止」していることです。舐められる時間帯は、休憩時間だけ？ 皆さんも分かる通り、庫の暑さは十分承知しています。屋根上など 40° を優に超えます。何故、作業時間帯に舐められないのか？ 甚だ、疑問に思いませんか？ 工作中、飢玉舐めながら作業していると集中力を欠くとか、見たくれが悪いから、ですか？ 本当のことを管理者に聞いてみましょう。飢玉やるから、しっかり仕事しろ！では（熱中）**飢とムチ**ですよ！

また、休憩時間ともなると風通しのいい場所か、クーラーの効いた詰所、リフレッシュルーム等で、次の作業までの骨休めをしています。しかも飢は、この時間帯にしか口に入れる事ができないので、舐めてみました。さすがに熱中飢、レモン味から次第に塩分のしょっぱさが滲み出てくる。舐め終わる頃には、喉はカラカラ水分補給する始末です。次第に腹は、チャボンチャボン。こんな状態では、次の作業に“熱中”できない。

熱中症対策予防のために配られた飢、暑いとき汗を流している時に、舐めなけりや意味がないんじゃないの。

噂話が横行し、職場の混乱を招いている職場再編、早急に施策内容を明らかにすること！

それと車両所の守衛門は、開かなくて参るね～ 車が一台通るたびに門が閉まる。ことの始まりは、東一両の守衛門から、自転車で乗った老人が入り込んでしまい、東二両の守衛さんも気付かずに、東京方の回送線まで行ってしまった経緯があったからです。セキュリティに、異常に神経を尖らせている JR 東海会社は、対策として考えたのが、一台一台入場させるやり方でした。でも、これって危険ですよ～ 東二両から入る時は、国道 357 号線、主要幹線なので車の往来も激しくスピードも速い、いつ追突されるかと、心配になりますよね？

また、東一両の守衛門ここが一番の問題。東一両・東二両の職場再編で、東一両庁舎やその他の場所で、改修工事が急ピッチで行なわれているので、朝夕など業者の車が数珠繋ぎ状態、業者の人たちは呆れ返っています。

そんなことは、よそ目に東一両の所長など、所長室を見てあまりの狭さに、もう一度図面を引かしているとか？ まさに職場再編は、行き当たりバッタリの工事であることが、うかがい知れます。

皆さんで職場再編の内容を明らかにするよう声を出していきましょう。